

第7回 「自閉症にやさしい社会」研究会

日時 : 平成22年12月8日(水) 19時~21時
場所 : 金沢大学 角間キャンパス 中央図書館 2F オープンスタジオ
報告 : 石原 孝二 先生(東京大学大学院総合文化研究科・准教授)
参加費 : 無料

◆内容◆

「自閉症研究のELSIと社会的意義」

石原 孝二 先生 (東京大学)

1990年代頃から、科学的研究は単に知的好奇心を満たすものではなく、社会の役に立つものであることを強く求められるようになってきた。他方でまた、ヒトゲノム計画におけるELSI(倫理的・法的・社会的問題)プログラムなどに象徴されるように、科学研究がもたらす社会へのインパクトや倫理的問題への意識や研究の必要性も強く意識されるようになってきている。自閉症を含む発達障害に関しては、最近関心が非常に高く、その研究の必要性に疑いを挟む声を聞くことはほとんど無い。しかしそれはひょっとしたら、一過性のブームなのかもしれない。自閉症を含めた発達障害研究が、社会全体にとって、どのような意義をもっているのかを今のうちに整理しておく必要があるだろう。一方、自閉症研究がもたらす「負の側面」について懸念の声が聞かれることもほとんど無い。しかし、それを「負の側面」と言うべきかどうかは別としても、自閉症研究が人間理解や社会性の理解に対して与える影響を与え、従ってまた、社会秩序に少なからず影響を与えることも十分考えられる。自閉症研究が社会のなかに位置づき、社会的な支援を得ていくためには、そうした問題を先回りして考えておく必要があるだろう。

報告者プロフィール: 東京大学大学院総合文化研究科・准教授(科学史科学哲学研究室)
東京大学グローバルCOE「共生のための国際哲学教育研究センター」事業推進担当者
東京大学進化認知科学研究センター、科学技術インタープリタープログラム執行委員
哲学・倫理学、科学技術論を専門とし、最近では特に脳科学や発達障害研究の科学哲学的・科学技術社会論的な研究を行っている。

◆今後の予定◆

1月12日(水) 19時~21時 @角間キャンパス中央図書館 2F オープンスタジオ

2月5日(土) 時間未定 @宝町キャンパス十全講堂 2F 会議室

問い合わせ先 〒920-1192 金沢市角間町 人文学類 社会学研究室 担当: 竹内慶至
TEL: 076-264-5476 E-mail: ntakeuti@staff.kanazawa-u.ac.jp
HP: <http://ristex-kanazawa.w3.kanazawa-u.ac.jp>